

第1回 運営推進会議 議事録

日時: 令和5年7月6日

場所: 毎快

出席者(敬称略)

小川 太喜 平戸市役所 長寿社会課 係長
瀬戸 純一 家族代表 木引田町総代
宝亀 雄希 木引田町商店街振興組合 副理事長
村井 多津子 相談支援 ことのは 社会福祉士
永石 早百合 柿添病院附属中野診療所 訪問看護 主任 看護師
力久 祥子 柿添病院 訪問リハビリ 主任 作業療法士
木山 藤子 リハビリ特化型通所介護 毎快 管理者
力久 俊基 リハビリ特化型通所介護 毎快 理学療法士

項目	質問・意見・アドバイス等
事業報告	<p>Q.送迎ではどのくらい(範囲)までいきますか。 A.片道15分程度を目安にしています。交通状況や利用人数により対応しますので、御相談いただければと思います。</p> <p>Q.介護度はどのくらいまで来られているか。 A.約2/3(48名)が要支援と事業対象者となっており、残りの1/3(25名)が要介護者となっています。内訳は 要支援1(16名)、要支援2(23名)、事業対象者(9名)、要介護1(15名)、要介護2(7名)、要介護3(1名)、要介護4(2名)、要介護5(0名)です。介護度は様々ですが、全ての利用者において、歩行補助具を用いてや手引き等で歩行が可能な方々が利用されています。</p> <p>Q.リハビリをして、介護度の変化はあったか。 A.当施設をご利用の方では、要介護4の方が先日、要介護2となりました。その為、サービス調整の関係で、利用回数が週1回となりガッカリされていました。</p> <p>Q.買い物はすべての利用者が行くのか。行きたくない利用者もいるのではないか。 A.現時点では、ご希望された利用者個人に対して、近隣店舗まで同行し支援を行っています。</p>

<p>現状報告</p>	<p>Q.登録者数と利用者数との数が異なっているがどうか。 A.入院や個人の事情により、利用を休止されている方がいらっしゃいます。その為、登録はされているが当該月のご利用がなかったため、登録者数と利用者数との間に差があります。</p>
<p>ヒヤリハット・ 事故報告</p>	<p>Q.(2件あった転倒事故について)同じ方が転倒されたのか。 A.別の利用者で2人の利用者が転倒されました。一人は以前から運動機能的に問題を抱えている方で、もう一人は認知機能低下により注意が逸れやすい方でした。それぞれ転倒リスクが高まっている方々ですが、問題点は異なっていると考えております。引き続き、事故予防に努めていきます。</p>
<p>その他</p>	<p>① 月に1回認知症カフェをしていきたい。 →「認知症」という言葉を替えたほうがよい。「カフェ」というより、みんなが入りやすいような雰囲気の名前がよい。</p> <p>② 「みいけや」や「おんちゃん」にご協力をいただいて、FAXで注文のやり取りをし、毎快に配達してもらおう。利用者には施設スタッフを介さず、直接店員と代金の精算をしてもらおう。 →お金の所在や持参金の額などの管理が心配。</p> <p>③ 平戸オアシス事業のトイレ設置店になっている。近くの保育園にもお願いし、毎快のトイレを使ってもらおう。 →その際に、園児が利用者とは交流することもできる。</p> <p>④ 地域の行事にも参加している。 →町や振興組合と連携していく。</p> <p>⑤ 運営推進会議の参加者 →できれば利用者も参加してもらえるとよい。</p>